

【記載例：小水力】設備利用状況報告書（1／2）

事業者名           〇〇〇〇株式会社          

(報告者：〇〇〇部 〇〇 〇〇〇)

項目	内容	
事業名	〇〇〇〇〇〇〇設備導入事業 ↑ 交付申請において記載していた事業名を記載すること	
事業費	総事業費     〇〇,〇〇〇千円 補助金額     〇〇,〇〇〇千円	
設備及びシステムの概要	設備名称	〇〇〇〇発電所 ← 発電設備の名称
	設備仕様	
	水     車：〇〇〇〇水車 発 電 機：〇〇〇〇発電機     (出力：〇〇〇kW) 年間発電量：〇〇〇〇kWh/年 使用水量：最大〇〇〇m <sup>3</sup> /s 有効落差：〇〇.〇m (上記の最大使用水量時)     など	
	燃料資源	
	(資源種類) 小水力 (〇〇〇川 (or 〇〇用水 or 〇〇下水処理設備) から取水) (資源調達計画) 上記の取水について河川法に基づく流水占有許可を取得     など 取水許可期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日 想定事業期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日 ※ ※許可期間よりも長い期間で事業実施を予定している場合に記載	
	システムの特徴	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇〇な制御を可能とする監視制御システムを有する</li> <li>・ 使用水量〇〇m<sup>3</sup>/s と少量の水量でも可能な〇〇式水車を採用している</li> <li>・ 〇〇な機構をもつ除塵機 (防塵機) を採用し、取水設備から水車までのゴミが少なく、メンテナンスが容易である</li> <li>・ 既存の〇〇〇を取水設備を有効利用している     など</li> </ul> ↑ 自社設備の導入時に申請書等で記載していた、もしくは導入後に PR できるポイントとしていることなどを記載すること	
	収入	
(系統連携の有無) 有 or 無 (エネルギー供給先) 〇〇〇〇株式会社 (電力会社名) or 自社の〇〇設備への供給 (エネルギー供給計画) 年間〇〇〇MWh (kWh)     など		

維持管理体制	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社の〇〇〇事業所〇〇課で保守管理</li> <li>・ 水車と発電機の維持管理、運営は、〇〇〇(株)へ業務委託</li> <li>・ 電気保安業務は電気管理技術者へ委託</li> <li>・ 発電所の日常管理は、地域住民・自治会へ依頼している など</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">↑ 導入した発電設備（取水設備なども含む）の維持管理で責任を もっているのは誰（自社の所属、委託先）なのか、実態を記載 すること</p>	
投資回収年数	<p>(計算過程)</p> <p>投資額：〇〇〇〇千円</p> <p>収入：△△△千円／年</p> <p>施設・場所利用：□□□千円／年</p> <p>維持管理費：■ ■ ■ 千円／年</p> <p>↑ 導入時点で想定していた経費の項目及びそれ ぞれの金額を記載すること</p> <p>(計算式)</p> <p style="text-align: center;">投資回収年=投資額÷(収入-施設・場所利用-維持管理)</p> <p style="text-align: center;">=〇〇〇〇÷(△△△-□□□-■ ■ ■) ≙ ◎</p> <p style="text-align: right;">◎年</p> <p>↑ 上記の(計算過程)の項目と金額を元に、投資 額を何年かけて回収予定なのかを 計算式に起こして計算すること</p>
供給エネルギー の用途	<p>一般電気事業者へ売電 or 自家消費</p> <p>↑ 実態に合わせて記載すること</p>

【記載例：小水力】設備利用状況報告書（2／2）

事業者名           〇〇〇〇株式会社            
 （報告者：〇〇〇部 〇〇 〇〇〇）

項目	内容
設備利用実績	設備稼働実績
	（月別実績）別紙報告でも可 別紙内訳のとおり <u>          合計 8270.8 h          </u> ↑月別の実績を、別紙などで用意する場合には、その実績の合計値と合うようにこの欄にも記載すること（↑の数値は、例として添付する表の数字と合わせて仮の数字を入れている）
	発電・熱供給実績
	（月別実績）別紙報告でも可 別紙内訳のとおり <u>          合計 1,209,950 kWh          </u> ↑同上
	売電・熱供給による収入
	（内訳）別紙報告でも可 別紙内訳のとおり <u>          合計 39,383,900 千円          </u> ↑同上
	エネルギー利用用途
	（供給先） 〇〇〇〇株式会社（電力会社名） or 自社の〇〇設備への供給 （供給先での利用用途） 一般需要家に供給 or 自社の〇〇事業（植物栽培、動物飼育、公園運営など）を行う〇〇設備への供給 ↑実態に合わせて、供給した先で電力を何に利用しているのかを記載すること
	維持管理費用
	（費目別維持管理費） 〇〇〇〇委託費   〇〇〇千円／年 △△△△委託費   △△△千円／年   合計 <u>          □□□千円／年          </u> ↑維持管理での外部委託、除塵機（防塵機）で収集したゴミ（塵芥）の処理費用など、実態に合わせて経費として発生した費用をそれぞれ書き出し、その合計金額を記載すること
投資回収年数（見込）	
（計算過程）  （計算式）  ↑前のページは、「設備導入時点」の計算だったのに対して、この欄	

	<p>では、報告する年度の実績を踏まえて計算すること。</p> <p>例えば、収入や維持管理費用などでは、当初の想定よりも金額が上下することがあるほか、想定していなかった費用の発生や想定していた費用がかからなかったことなどがあれば、それを反映すること</p>
	<p>見学会</p>
	<p>(見学会開催数) ○回 (見学者数) ○名</p> <p>(次世代エネルギーパークの登録) 有・無</p> <p>↑報告する年度の実態に合わせて記載すること。</p> <p>例えば、見学会未実施の場合は「0回、0名」の記載でよい。</p> <p>次世代エネルギーパークの登録は、別途添付する一覧に登録しているかどうかを確認して、いずれかに○を付すこと</p>
	<p>その他設備導入による効果</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間約○○○トンのCO<sub>2</sub>削減</li> <li>・構内に設置した公園を地元の人たちが利用している</li> <li>・周辺地域（関連事業者）へのPR、地元の広報誌取り上げられるなどにより、地域社会（業界）へのエネルギー地産地消への意識向上に貢献している など</li> </ul> <p>↑設備導入後の「売電収入」「電力の自家消費」以外で、設備導入がもたらした社会や周辺地域への影響・効果を記載すること</p>
	<p>その他設備導入による課題</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運開前（後）の○月頃に全国的な渇水時期があり、安定的な総業に苦慮する場面があった。</li> <li>・台風○号の影響による、増水・瓦礫の流入などで取水設備（や水車など）が破損するなどして、一時的に運転できない時期があり、思うような発電収入が得られなかった。</li> <li>・導入した発電機（や水車など）に故障が多く、修繕費が想定より多く発生しているほか、安定的な運転ができていない など</li> </ul> <p>↑設備導入後に発生したトラブルや、運転を継続する上で課題に感じていることがあれば記載すること</p> <p>特になければ、特になしでよい。</p>

## 【記載例】設備稼働・発電・収入実績の月別一覧【令和〇年度】

	稼働時間 (h)	発電電力量 (kWh)	販売電力量 (kWh)	売電収入※ (円)
4月	686.6	104,400	104,223	3,543,582
5月	734.0	105,120	98,463	3,347,742
6月	714.6	100,190	96,852	3,292,968
7月	649.7	96,220	89,972	3,059,048
8月	584.6	87,940	84,942	2,888,028
9月	662.3	96,850	96,931	3,295,654
10月	721.7	104,510	94,565	3,215,210
11月	680.2	89,800	97,379	3,310,886
12月	728.1	103,960	87,299	2,968,166
1月	726.1	111,200	106,374	3,616,716
2月	666.8	101,370	107,398	3,651,532
3月	716.1	108,390	93,952	3,194,368
合計	8270.8	1,209,950	1,158,350	39,383,900

※売電単価＝34円/kWh

↑ 発電開始が年度の途中からの場合は、開始した月から実績を記載すること

「販売電力量」と「売電収入」は、FITなどを利用して売電している場合。

↑ 自家消費している場合は、“設備導入していない場合の電力の調達方法（※）”と比較して、差し引きして結果的に何円の収入が発生しているかを計算すること。

※ 電力会社と契約して電力を調達する場合

「使用電力量」…発電した電力のうち、自家消費した分の電力量を記載

「収入相当額」…従前の契約電力では、〇円/kWhなので、

使用電力量×〇＝差引収入（設備導入して得られた電力の収入）

	稼働時間 (h)	発電電力量 (kWh)	使用電力量 (kWh)	収入相当額※ (円)

※契約電力＝〇円/kWh

※ 何らかの燃料を燃やすなどして発電して電力を調達する場合

「使用電力量」…発電した電力のうち、自家消費した分の電力量を記載

「収入相当額」…燃料調達に係るコストで、〇円/kWhなので、

使用電力量×〇＝差引収入（設備導入して得られた電力の収入）

	稼働時間 (h)	発電電力量 (kWh)	使用電力量 (kWh)	収入相当額※ (円)

※燃料調達費＝〇円/kWh